

# (1) 学校「総合的な学習の時間」における実践例(その1) －地域の川を活かした交流と学習「川ねっとプロジェクト」－ 氷上郡春日町立大路小学校(4年生)

## 学校の特徴

大路小学校は、児童数169、教職員数12、学級数7（平成12年度）で、施設としては、各教室の横に教室と同じ大きさの廊下を兼ねた「ワークスペース」をもち、また、校内LANが各教室・ワークスペースで使えるように整備されています。

学区は、由良川水系竹田川の最上流部で、静かな田園地帯です。中央分水嶺があり、降った雨水は日本海（由良川）と瀬戸内海（加古川）に流れます。

## 「総合的な学習の時間」の構想

上記のような学校・地域特性に加え、平成10年度～12年度、由良川流域(兵庫県と京都府)の12小学校が、パソコンを使った川に関する学習の交流「川ねっとプロジェクト」に取り組みました。大路小も参加校です。

そこで、豊かな自然の中での体験や学習を通して人と自然の関わり方を学び、豊かな表現力と情報活用能力を身につけることを目標に、平成12年度のテーマを「学校、地域の中で自ら求め学習する児童の育成」と設定し、「『川』を基盤とした地域間交流」を中心とした環境学習に全学年で取り組みました。

### 各学年のテーマ

- 1年「生活科・あそびばへいこう」
- 2年「生活科・まちや川をたんけんしよう」
- 3年「竹田川 生き物探検」
- 4年「今の川と昔の川」
- 5年「リバーウォッチング」
- 6年「川図鑑をつくろう」

### 「川ねっとプロジェクト」参加校

- 兵庫県氷上郡春日町：大路小、進修小、春日部小
- 〃 市島町：三輪小、吉見小、竹田小
- 京都府福知山市：上六人部小、大正小、三岳小、公誠小
- 〃 舞鶴市：八雲小




## 「総合的な学習の時間」のすすめ方の工夫

- (1) 計画作成について：「川ねっとプロジェクト」参加校間で、交流のタイミングと内容について打ち合わせ、計画を策定。また、地域の人材リストを作成し、地域の人々に「教育ボランティア」としての協力を計画的にお願いしました。
- (2) 指導体制について：河川や山での活動、子どもたちだけでの取材活動には様々な危険が予測されるため、授業のない職員が事前に打ち合わせた上で支援しました。また、教育ボランティアに講義や取材への回答等につきご協力いただきました。
- (3) 評価について：
  - ① 多様な評価：児童は、活動毎の「ふりかえりシート」や発表の評価など、自己評価と他者評価を行いました。教師は、生徒の「関心・意欲・態度」「表現」「情報活用能力」の学年毎の達成目標をたて、それに基づき評価しました。
  - ② 継続的な評価：学習単元毎のファイル「ポートフォリオ」を作成し、児童も先生も学習内容や態度、身につけた学力等をふりかえられるようにしました。

## 4年生のプログラム「竹田川・由良川を調べよう～今の川と昔の川～」(34時間)

### 学習のすすめ方

学 習 活 動 ・ ね ら い	背 景 ・ 留 意 点
<p><b>【ねらい】</b>  <b>(環境)</b> 川の環境と人々の生活のかかわりについて考え、よりよい環境をつくろうとする。  <b>(情報・表現)</b>                      ①地域の人々へのインタビューやインターネットにより、情報収集ができるようになる。                      ②集めた情報を観点別に分類・整理し、複数の情報を組み合わせて記録できるようになる。                      ③調べたことを文やグラフ、写真、図、表などを使いながら相手にわかりやすく伝えることができるようになる。  <b>(関心・意欲・態度)</b> 課題を見つけ、意欲的に調査することができるようになる。</p> <p><b>【学習活動】</b>  <b>(1)昔の竹田川の写真を見て、川がどのように変わってきたか、なぜ変わったかを考える。</b>                      ①現地調査、聞き取り調査(4時間)                      ②まとめ(壁新聞・紙芝居など)(4時間)                      ③グループ毎の発表会(2時間)                      ④発表内容をホームページに公開(1時間)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>(1)で見つけた課題</b>                          ①今の川は泳げるか                          ②川の水はきれいか、汚れているか                          ③水の流れの速さは                          ④川の魚は食べられるか                          ⑤水温 ⑥深さ</p> </div> <p><b>(2)今の川を調べる</b>                      ①調査(4時間) ②パソコンでまとめ(4時間)                      ③発表(2時間) ④ホームページに公開(1時間)                      ※調査では、「県立人と自然の博物館」にご協力いただき、博物館との「テレビ会議」で質疑応答をした。                      ※「川ねっと」ホームページへの公開後、春日部小から、春日部の昔の川の紹介があり、それを基に大路との共通点・相違点について話し合った。</p> <p><b>(3)由良川について、自分の見つけた課題にそって調べるとともに、「昔の川と今の川とどちらがいいか」を話し合う。</b>                      ①電話・FAXでの聞き取り、メール・ホームページでのアンケートなど(5時間)                      ②まとめ(4時間) ③発表(2時間)                      ④ホームページで公開(今までの調査・まとめ・発表を通じてできた「自分にできること」及び「昔の川と今の川のいい点・悪い点」)(1時間)</p>	<p><b>【4年生の特徴】</b>                      ・4年生になるまでに、いろいろな形で川の学習を積み重ねてきている。                      ・2年の生活科で川遊びを体験し、3年時は「川ねっと」で川の動植物調査を行い、参加校とクイズ形式で交流してきた。                      ・4年では、社会や理科で川の治水・利水について学ぶようになっている。</p> <p><b>【注意事項】</b>                      ・先生が地域の人と連絡をとり、聞き取りがスムーズにいく体制を整える。                      ・聞き取りのマナーを指導する。                      ・パソコンの使い方を指導する。                      ・児童が自分なりの考えをもって、学習に参加できるように助言する。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>聞き取りのマナー</b>                          ・いつ行くか連絡する。                          ・言葉遣いを考える。(丁寧に、はっきりと、お礼の言葉)                          ・訪問時刻を守る。                          ・自己紹介をきちんとする。                          ・記録の方法を工夫する(筆記、ビデオカメラ、テープレコーダー)</p> </div>  <p><b>【(2)大路と春日部の共通点・相違点】</b>  <b>(共通点)</b> ・昔いた魚が減ってきた。                      ・プール代わりだったのに、今は泳げない(泳がない)。                      ・コンクリートばりのまっすぐな川が増えた。  <b>(相違点)</b> ・春日部では、今はなくなってしまった川がある(大路にはない)。                      ・同じ魚でも呼び方が違う。</p> <p><b>【(3)話し合いの結果】</b>  <b>(昔の川のいい点)</b>                      ・魚がたくさんいて、食べられた。                      ・自然が豊かで景色もいい。                      ・川で泳いだり遊んだりできた。  <b>(今の川のいい点)</b>                      ・大雨でも安心。氾濫が少ない。</p>

## 学習の評価の工夫

### ①多様な評価

児童には、各ステップ毎に5段階の自己評価をしてもらいました。活動が進むにつれて「できなかった」と評価する子が増えましたが、うまくいかなかった理由について、グループや先生と話し合う時間を作りました。

発表の相互評価は、「声が大きかった」など、表面的な評価が多かったのですが、「〇〇グループのこんな調べ方がよくわかった」といった、活動を理解した評価もみられました。



### ②継続的な評価

学習に使ったワークシートや写真、資料は、クリアファイルに綴じてワークスペースに置き、情報の共有と学習の流れに沿った一人ひとりの継続的評価を図っています。

## 先生の感想

児童が自然にじかにふれることで、自然への愛着と自然環境保全への意欲を育てていきたいと思えます。

また、一本の河川の環境を流域の学校で考える「川ねっと」は、環境教育の面からも、パソコンを利用した情報教育の面からも、意義深い試みでした。

交流により、環境モラル、情報モラルを身につけることもできたと思います。



## 「総合的な学習」実施上の課題

学習の引き継ぎのため、前年度の先生が次年度の大まかな計画をたてていますが、次年度の先生や生徒の個性があり、計画どおりにできない場合や変更した方がいい場合も出てきます。柔軟な方法を模索しています。

大路小学校ホームページ

<http://www.hikamigun.kaibara.hyogo.jp/kasuga/ooji/index.htm>

「川ねっと」のホームページ

<http://www.hikamigun.kaibara.hyogo.jp/kawa.htm>

